

# 気仙沼インド輸出振興協議会

## 複数品目

### 基本情報

対象国 インド

輸出額 0円/年

加盟者数 3社

主な販売先 小売

活動地域 宮城

品目数 複数

希望スキーム 間接

備考 -

## 展示商談会への参加や現地視察を通してインドでの販路を開拓し、日本の食文化の普及を目指す

インドで開催される展示商談会への出展や、現地視察による市場調査を実施し、日本の高品質な水産物と、伝統の技が生み出す日本酒の魅力を発信する。

### 団体概要

所在地 宮城県気仙沼市

設立年 2025年

事業内容 海外展示会への出展、市場調査

認証取得 EU-HACCP,FSSC22000,HALAL等

生産規模 -



### 取組の経緯 / 概要

- ・インドでは、日本食レストランの増加や健康志向の高まりにより、寿司や刺身などの日本食が注目されている。また、2024年に、インド政府が日本酒をGIとして認定し、輸出手続きが簡素化されたことにより、日本酒を輸出するハードルが下がり、デリー、ムンバイ、バンガロールなどの主要都市で日本酒の消費量が増加傾向にある。
- ・3事業者（魚肉ソーセージ製造会社、酒類製造会社、水産加工品製造会社）が連携し、インドへの販路開拓の足掛かりとして、展示商談会への出展及び消費者ニーズを把握するための市場調査を行う。

### 取組の成果

- ・輸出金額：587万円（2028年度目標）
- ・輸出量：3,336kg（2028年度目標）

# 取組のポイント

輸出経験のある3社が共同で展示商談会に参加し、市場調査をもとに選定した商品をPRすることでインドでの販路開拓を図る

## 輸出を進める上で抱えていた課題

TASK  
課題  
1

現地ニーズを把握できていない

TASK  
課題  
2

インドにおける輸出規制や、輸出に向けた各種申請等の把握・対応

TASK  
課題  
3

商談会の成約率

## 輸出成功のポイント

### 市場調査の実施

小売店や日本料理店での視察及びバイヤーやディストリビューターへのヒアリングを通じて現地ニーズを把握

### 商社との関係構築

インドへの販路を有する輸出商社と連携し、輸出に向けたアドバイスをもらう

### 現地の展示商談会で直接商品をPRする

現地バイヤー及びディストリビューターに直接商品の魅力を紹介することにより、売り手の熱意を伝えることができ、成約に繋げる

# サプライチェーン別取組

## 現地のニーズに沿った商品の選定

- 現地視察や、バイヤー・ディストリビューターへのヒアリングから得た情報をもとに、輸出する商品を決める

## 商社との同行営業

- 輸出商社に同行営業を依頼
- 現地の商習慣をもとに小売店や飲食店に対して商品をPRする

## 展示商談会への参加

- 優れた日本食の認知度向上に向けて展示商談会に参加
- 来場者の興味を引くポスターや商品カタログを作成

商品選定

流通

販売

## 今後の輸出拡大に向けて

本事業を通じて、インド市場における販路開拓の第一歩を踏み出すことができた。今後は本事業で得られた商談機会やネットワークを活かし、気仙沼の水産加工品および日本酒等の輸出拡大につなげていきたい。